

第3回美化推進計画市民検討委員会会議録

日 時	平成21年8月31日(月)午前9時30分～11時50分
会 場	全員協議会室
出席者 (欠席者)	市:環境課(事務局) 石井環境課長、坂間副課長、岡環境保全係主査、小出ごみ対策係長 検討委員会委員 出席者 草村委員、倉原委員、柳田委員、岡澤委員 柳田委員、北澤委員、川上委員 欠席者 清水委員、柳川委員、羽石委員、
会議次第	別紙のとおり
配布資料	
備考欄	

会議名：美化推進計画市民検討委員会 会議録

1 開 会

環境課長あいさつ（当日配布会議次第等確認、前回会議の確認を含む）

2 あいさつ

倉原委員長

3 議 事（倉原委員長議事進行）

（１）計画の基本事項についての確認

前回の委員会で保留となっていた、計画の背景と目的、計画の位置付け、計画の期間について再度確認したところ、一部字句、文言の修正等があったとしても、概ね（案）どおりとすることで確認されました。

（２）計画の目標について

前回の委員会時点では仮のタイトル付けをした４項目の計画の目標について、事務局として考えた案（別紙 A3 判、富士見市をきれいにするためにの４つのグループ、島の見出し）も参考にしながら、この間に各委員が考えてきた案を順次発表したところ、この段階で別紙 A4 判横「タイトルづくり」の左側半分の枠で囲まれた内容のタイトル付けが出来ました。

次の段階として各委員から出された幾つかのタイトルをさらに絞りこみ、特に印象深い文言（例えば、「捨てる人から拾う人へ」等）を残しつつも、親しみやすく、俳句調の語呂のよいタイトルになるよう作業を進めていった結果、別紙 A4 判横「タイトルづくり」の右側はあるように、

始めよう目を向け気づくまちの美化

育てよう一人ひとりの美化意識（捨てるひとから拾う人へ）

まちの美化守る決め手は市民（みんな）の目

進めようチームワークで美化運動

の４つを計画の目標（タイトル）として設定することが出来ました。次の作業として A3 富士見市をきれいにするためにの左側半分、すなわち 始めよう目を向け気づくまちの美化と 育てよう一人ひとりの美化意識（捨てる人ひとから拾う人へ）のふたつの目標（タイトル）の中の各項目・アイテム（各委員がカードに書いたキーワード、短い文章）についてその主体は市民、事業者、行政なのかを順次検証・確認していきました。しかしながら、時間の都合上、今回の委員会では、左側半分、上記の、の主体は誰なのかの確認をしたに留まりました。（結果は A4 判横書きのもので、市民、事業者、行政のそれぞれに

印が付いたものです。)

(3) その他

・次回の会議については、9月16日(水)午前9時30分から市役所市長公室にて開催する。

4 閉 会

北澤副委員長

以 上

タイトルづくり

きれいな富士見の情報発信
環境(富士見の)美化に目を向けよう
イエス・ウィー・キャン クリーンシティ
やればできるきれいなまち
みんなが住みたがるきれいなまちづくり
富士見の美化をさあ実行
富士見市の美化をみんなで盛り上げよう
目を向け気づこうまちの美化
始めよう目を向け気づくまちの美化

始めよう目を向け気づくまちの美化

きれいな富士見は市民の目と手で
きれいな富士見は力を合わせて
育てよう 一人ひとりの美化意識
環境美化の心を育てよう(捨てる人から拾う人へ)
環境(富士見の)美化の意識(マナー)を高めよう

育てよう 一人ひとりの美化意識(捨てる人から拾う人へ)

環境(富士見の)美化に力を出し合おう(協力しよう)
きれいなまちの心がけ
きれいなまちは市民の手から
環境づくりはみんなの力
まちの美化守る決め手は市民(みんな)の目

まちの美化守る決め手は市民(みんな)の目

環境(富士見の)美化を実行しよう
進めようチームワークで美化運動
みんなで作る(協力)きれいなまち

進めようチームワークで美化運動

①始めよう目を向け気づくまちの美化

PR・情報発信

	市民	事業者	行政
高齢大学(学級)講座で活動のPR	○		○
富士見市美化だよりを毎月発行 地区の回覧板で配布	○		○
①美化重点区域マップ (特にごみが多いところ)を作成	○		○
②町会に配布町会の美化委員さん中心に取り 組んでもらい、3か月に1回進捗状況や成果 の報告会			○
③継続的に広報や美化だよりで紹介	○		○
看板を出す 【この道路は私(企業)が清掃しています】 ・できる範囲で ・協力しているPR効果にもなる	○	○	
通勤・通学路の清掃とPRを行う	○	○	○
富士見市の美化推進運動をTVで放映 (「富士見市=美しい街」というイメージづくり)	○		○
子どもたちの美化活動も紹介	○		○
犬のふん看板を立てる	○		○

啓発イベント

	市民	事業者	行政
全市一斉にごみゼロ作戦日を設け実施する	○	○	○
環境標語の募集をする	○		○
強化週間等を常に行いアピールする (どんなことでも良いポイ捨てゼロとか)			○
子どもが描いたポスターや標語を、ごみが落 とされやすいところに掲示する	○		○
ごみゼロキャンペーン(ごみゼロ週間)	○	○	○
美化運動の協賛企業を求めよう(職員を含む)		○	○
市民クリーン大作戦 (〇〇川をきれいにする会に有名人参加)	○		
老人クラブ・PTAに協力をお願いする	○		○
富士見市をきれいにする日の制定 ・クリーン作戦 ・モデル地区(町会)			○
「街をきれいに」のキャンペーン週間を設定す る			○
自覚を促す標語をつくる			○

②育てよう 一人ひとりの美化意識(捨てる人から拾う人へ)

マナー・モラルの向上

	市民	事業者	行政
捨てられているごみを拾う勇氣	○		
目の前に落ちているごみは無視せず常に持ち歩くごみ袋に入れる	○		
ごみの分別はきちんとする	○		
外出先で出た自分のごみは持ち帰る	○		
排水口は灰皿・ごみ箱ではない	○		
マナーの向上(犬のふん、他)	○		
誰が街をきれいにするのか(一人ひとりが行うこと)	○		
自宅の周囲1mの掃除	○		
きれいな道路は市民の協力に	○		
誰かに任せず自分で始末	○		
ペットのお願いふんの持ち帰り	○		
ごみのポイ捨て自分が見てる	○		

環境教育

	市民	事業者	行政
学校教育の中に地域美化推進を取り入れる			○
環境美化啓発DVD作成、小学校での積極的な環境教育			○
引渡し訓練のときに通学路のごみを親子で拾って帰る	○		
小学生への街をきれいへの学習			○
育てよう きれいな街と 子どもの心	○		○
高校生・大学生に協力を呼びかける	○	○	○

意識づけ

	市民	事業者	行政
市民への意識づけをする(方法について)			○
やってはいけないことを意識してもらい呼びかけをする	○		○
捨てないだけでなく拾う心がけも	○		
きれいな街は市民の意識から	○		
ポイ捨てや犬のふんに関する罰則規定を法令化(シンガポールのように?)			○
電柱への公告貼付を禁止する			○